

令和5年度科学研究費助成事業「学術変革領域研究（A）」に係る中間評価結果

領域番号	20A101	領域略称名	生涯学
研究領域名	生涯学の創出—超高齢社会における発達・加齢観の刷新		
領域代表者名 (所属等)	月浦 崇 (京都大学・人間・環境学研究科・教授)		

(評価結果)

A (研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの進展が認められる)

(評価結果の所見)

本研究領域では、心理学、社会学、教育学、文化人類学の研究者がチームを組み、生物心理社会モデルの考え方にのっとり、「成熟」と「可塑性」などを切り口とし、幅広い観点と方法論から取り組みを進めている。政策学的な観点から提言を行う体制を整える一方、研究業績においても欧文誌 72 編、和文誌 104 編の成果を上げ、本研究領域の設定目的に照らして期待どおりの進展が認められる。また、今後の進展が期待される。

一方で、多様な学問分野からのエビデンスを融合し基盤的研究の成果を社会実装することを目指す「生涯学」を新たに創出するという点ではまだ不十分であり、今後の展開に期待する部分が多い。公募研究を含めた計画研究相互の連携や、「生物」「心理」「社会」分野相互の連携を一層深めていく取り組みが望まれる。